

「みんなで異見交論」 第2回 (Web セミナー)

ポストコロナの国立大学

—死と再生のシナリオⅡ

2020年
10月17日(土)

大学がこれほどまでに改革を迫られるようになったのは、なぜでしょうか。大学は、国際競争力、教育、ガバナンス……次々に課題が突きつけられ、何がどう変わったのでしょうか。一方、私たちはその変化を理解できる目を持っているのでしょうか。ポストコロナの社会と大学との関わり方を、『文部科学教育通信』の好評連載「異見交論」でお馴染みの松本美奈氏と一緒に、みんなで考えてみませんか。第2回は前回に続いて、ゲストに“再生のプロ”富山和彦氏、指定討論者に“経済学の俊傑”星岳雄氏をお迎えします。



ゲスト
富山和彦氏
経営共創基盤
代表取締役CEO



指定討論者
星 岳雄氏
東京大学教授



ファシリテーター
松本美奈氏
上智大学特任教授・
帝京大学客員教授/
元読売新聞記者

国立大学は「 A 」だから、納税者のお金を「 B 」。
→国立大学法人は国立大学が「 A 」として
「 C 」する責任を負う。
その責任を果たせない場合、「 D 」。
皆さんなら、A、B、C、Dに何を入れますか？

政府からの自立を
健全な形で行うには？

大学改革に新自由主義の
考えをもっと入れていくべき？

若手がアイデアを創出する場が
科学技術・高等教育政策でも必要では？

抜本的で有効な政策を
考える場はどのように
設計されるべき？

アメリカのように、国で一つの
「選ばれた学外者からなる委員会」を
作り、社会の意思を反映するよう
してはどうか？

国立大学における
教育と研究のバランスは？

参加者はZoomチャットで富山氏への質問ができます。ファシリテーターが質問を選び、その場で富山氏にご回答いただくほか、後日『文部科学教育通信』誌上(11月9日号～掲載予定)でご回答いただきます。

開催
日時

2020年10月17日(土) 10:00~11:30

開催
場所

Zoomミーティング(Web)

参加
対象

大学と社会の関係に関心のある人

参加
方法

参加は無料。事前申し込み制(定員になり次第締め切り)。参加希望者はメールの件名を「みんなで異見交論 第2回参加希望」として、氏名、所属、連絡先(電話番号任意)をご記入の上、文部科学教育通信編集部(monbkkt@kyoikushinsha.co.jp)までお申し込みください。

Zoomミーティングの「ミーティングID」と「パスワード」は前日までに申し込みいただいたメールアドレスにお知らせいたします。参加にあたっては注意事項をお守りください。

主催

ジァース教育新社(『文部科学教育通信』発行元)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル TEL 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892
E-mail info@kyoikushinsha.co.jp URL <https://www.kyoikushinsha.co.jp/>